

# 令和8年度採用

## 山梨県公立学校教員選考検査

### 高等学校・商業 問題

「始め」という合図があるまで、このページ以外のところを見てはいけません。

#### 注 意

- 1 この問題は6問3ページで、時間は60分です。
- 2 解答用紙は、別紙で配付します。「始め」の合図で始めてください。
- 3 解答は、それぞれの問題の指示に従って解答用紙に記入してください。
- 4 「やめ」の合図があったら、すぐやめて係の指示に従ってください。
- 5 解答用紙を持ち出してはいけません。

**高等学校 商業****1**

「情報処理」に関する、次の（1）、（2）の問い合わせに答えよ。

- (1) 次の文章の①～⑥にあてはまる最も適当な語句を下のア～シから一つ選び、記号で記せ。なお、同じ番号には同じ語句が入るものとする。

コンピュータの五大装置のうち、プログラムやデータを解釈し、その他4つの装置を（①）する装置のことを（①）装置といい、計算や比較、判断を行う装置のことを（②）装置という。また、これらをあわせて（③）と呼ぶ。また、入力されたプログラムやデータや処理結果を（④）する（④）装置は、主記憶装置と補助記憶装置に分けられる。補助記憶装置にはハードディスクやフラッシュメモリなどがあり、特徴としてデータが（⑤）こと、記憶容量が（⑥）ことなどがあげられる。

ア. 入力	イ. 大きい	ウ. 制御	エ. DVD	オ. インタフェース
カ. 小さい	キ. 消える	ク. 記憶	ケ. 演算	コ. 出力
サ. 消えない	シ. 中央処理装置（CPU）			

- (2) 次のグラフは、それぞれどのような用途で使用するグラフか簡潔に説明せよ。

- ① 棒グラフ
- ② 折れ線グラフ
- ③ 円グラフ

**2**

「商品開発と流通」に関する次の（1）、（2）の問い合わせに答えよ。

- (1) 商品ライフサイクルの次の4つの段階の特徴をライフサイクルのはやい順に並び替え、語群から記号で選び、記せ。

ア 市場で急速に普及していく段階	イ 需要が低減し、市場が小さくなる段階
ウ 市場に幅広く普及した段階	エ 発売されてまだ間もない段階

- (2) 有形財と無形財について、それぞれ具体的な例をあげながら簡潔に説明せよ。

**3**

「ビジネス基礎」に関する次の（1）、（2）の問い合わせに答えよ。

- (1) 基本的なビジネスマナーのなかで、身だしなみのポイントを3つ記せ。
- (2) 基本的なビジネスマナーで、あいさつのときにするお辞儀の種類が3つあるが、そのうちの1つをあげ、そのあいさつがどのような場面で使われるか、具体例を記せ。

4

「原価計算」に関する次の（1）～（3）の問い合わせに答えよ。

- (1) 下の資料は、標準原価計算を採用しているY製作所の当月のものである。このとき、仕掛品勘定のア～ウに入る金額を求めよ。なお、仕掛品勘定への記帳方法は、パーシャルプランによっている。ただし、直接材料は製造着手のときについてすべて投入されるものとする。

仕掛け品	
前月繰越	602,000
材 料	2,020,000
勞務費	2,773,000
製造間接費	2,047,000
予算差異	38,000
製 品 (ア)	
材料消費価格差異 (イ)	
材料消費数量差異 76,000	
賃率差異 118,000	
作業時間差異 (ウ)	
	(一部省略)

資料

## ① 標準原価カード

A製品	<u>標準原価カード</u>		
	<u>標準単価</u>	<u>標準消費数量</u>	<u>金額</u>
直接材料費	¥ 380	5 kg	¥1,900
	<u>標準賃率</u>	<u>標準直接作業時間</u>	
直接労務費	¥ 900	3 時間	¥2,700
製品 1 個あたりの標準原価			¥6,700
(一部省略)			

## ② 生産データ

月初仕掛品	140 個	(加工進捗度 50%)
当月投入	970 個	
合計	1,110 個	
月末仕掛品	150 個	(加工進捗度 60%)
完成品	960 個	

### ③ 実際直接材料費

実際単価 ￥400  
実際消費数量 5,050 kg

#### ④ 実際直接労務費

実際賃率 ￥940  
実際直接作業時間 2,950 時間

- (2) 個別原価計算と総合原価計算は、それぞれどのような生産形態で適用されるか説明せよ。

(3) 直接原価計算は、どのような資料を提供するのに適しているか簡潔に記せ。

**5**

「ビジネス・マネジメント」に関する次の（1）, (2) の問い合わせに答えよ。

(1) 企業の秩序と責任に関する、次の①～③の用語について、それぞれ簡潔に説明せよ。

- ① 企業統治 (コーポレート・ガバナンス)
- ② 情報開示 (ディスクロージャー)
- ③ 法令遵守 (コンプライアンス)

(2) 次の文章の①～⑤にあてはまる最も適当な語句を下のア～コから一つ選び、記号で記せ。

いくつかの作業に分けることができる仕事を、それぞれに分けて（①）していくことを分業という。このうち、研究開発部門や生産部門などのように（②）に分業することを（③）という。また、企業規模が大きくなり、指示や命令を出す人と出される人に分業するような（④）に分業していくことを（⑤）という。

- |          |        |           |          |
|----------|--------|-----------|----------|
| ア. ライン組織 | イ. 機能別 | ウ. 垂直的分業  | エ. 最高管理者 |
| オ. 階層別   | カ. 専門化 | キ. スタッフ組織 | ク. 最小化   |
| ケ. 水平的分業 | コ. 最大化 |           |          |

**6**

高等学校学習指導要領（平成30年3月告示）「第3章 第3節 商業 第2款 各科目第4 ビジネス・コミュニケーション」について、次の（1），(2) の問い合わせに答えよ。

(1) 次の文章は「3 内容の取扱い」の一部を記したものである。①～③にあてはまる語句を記せ。

ビジネスの場面を想定したコミュニケーションに関する実践的・（①）な学習活動を充実させるとともに、身に付けた（②）、技術などを様々な学習活動の中で活用する機会を設けるなどして、ビジネスにおいて（③）にコミュニケーションを図ることができるようすること。

(2) 「2 内容 [指導項目] (3) ビジネスにおける思考の方法とコミュニケーション」を指導する際に、あなたはどのような学習活動を設定するか、ビジネスの場面と活動内容を具体的に記せ。

受検番号		氏名		※	
------	--	----	--	---	--

-----切り取らないこと-----

令和8年度採用 山梨県公立学校教員選考検査

※

## 高等学校 商業 解答例

1 18点	(1) 2点×6か所 =12点	① ウ ④ ク	② ケ ⑤ サ	③ シ ⑥ イ						
		それぞれのデータの大きさを棒の長さであらわして比較するときに用いられる ① グラフ。								
	(2) 2点×3か所 =6点	② それぞれのデータが時間的変化（時系列の推移）であらわされているときに用 いられるグラフ。								
		③ データ全体を円であらわし、それぞれのデータが全体のなかでどれくらいの割 合を占めるのかを扇型の角度であらわすときに用いられるグラフ。								
2 16点	(1) 3点×4か所 =12点	エ	→	ア	→	ウ	→			
	(2) 4点	イ								
		有形財とは、農畜水産物や天然資源、文具、洋服、家電製品（テレビ・洗濯機・冷蔵庫）など形があるものと/orい、無形財とは、家事代行や旅行、保険、教育、美容、介護などのサービスのような形がないものと/orい。								
3 11点	(1) 3点×3か所 =9点	清潔さを保つこと		機能的であること		周りとの調和をとること				
	(2) 2点	お辞儀の種類のひとつに会釈があり、廊下ですれ違うときや部屋の入退室のときなどに使う。								
4 17点	(1) 2点×3か所 =6点	ア	6,432,000	イ	101,000	ウ	9,000			
	(2) 5点	個別原価計算は、種類の異なる特定の製品を個別的に生産する製造業で適用される。一方、総合原価計算は、同じ種類又は異なる製品を連続して大量生産する製造業で適用される。								
	(3) 6点	将来の一定期間において必要とされる利益の目標額を設定し、これを達成するための原価や利益がどのように増減するか明らかにする資料。								
5 19点	(1) 3点×3か所 =9点	① 企業が適正な経営や事業運営をするために、企業の経営を律するしくみのこと。 ② 利害関係者に対して、事業内容や財政状態など、さまざまな情報を開示すること。 ③ 法律や条令などを守るため、企業の内部で独自に倫理行動規範を策定するなどのさまざまな取り組みのこと。								

(裏面に続く)

高・商業2

<b>5</b>  <b>6</b>  <span style="font-size: small;">19点</span>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center; padding: 2px;">(2)</td><td style="width: 25%; text-align: center; padding: 2px;">① カ</td><td style="width: 25%; text-align: center; padding: 2px;">② イ</td><td style="width: 25%; text-align: center; padding: 2px;">③ ケ</td></tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">2点×5か所 =10点</td><td style="text-align: center; padding: 2px;">④ オ</td><td style="text-align: center; padding: 2px;">⑤ ウ</td><td></td></tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">(1)</td><td style="text-align: center; padding: 2px;">① 体験的</td><td style="text-align: center; padding: 2px;">② 知識</td><td style="text-align: center; padding: 2px;">③ 円滑</td></tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">3点×3か所 =9点</td><td colspan="3" style="padding: 10px;">           私が設定する学習活動は、ポジショニング・マップやSWOT分析などを用いて、            ものごとを論理的にとらえたり、分析したりするなどの思考方法を学ばせ、ビジネスの場面を想定した討論などの実習なども行う。            更に、会議や交渉、情報発信などのそれぞれの特徴や状況での対応の仕方などを学ばせ、実習などを体験することで、相手に伝わる話し方などについて実感をもって理解させるようとする。         </td></tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">(2) 10点</td><td colspan="3"></td></tr> </table>	(2)	① カ	② イ	③ ケ	2点×5か所 =10点	④ オ	⑤ ウ		(1)	① 体験的	② 知識	③ 円滑	3点×3か所 =9点	私が設定する学習活動は、ポジショニング・マップやSWOT分析などを用いて、 ものごとを論理的にとらえたり、分析したりするなどの思考方法を学ばせ、ビジネスの場面を想定した討論などの実習なども行う。 更に、会議や交渉、情報発信などのそれぞれの特徴や状況での対応の仕方などを学ばせ、実習などを体験することで、相手に伝わる話し方などについて実感をもって理解させるようとする。			(2) 10点			
(2)	① カ	② イ	③ ケ																		
2点×5か所 =10点	④ オ	⑤ ウ																			
(1)	① 体験的	② 知識	③ 円滑																		
3点×3か所 =9点	私が設定する学習活動は、ポジショニング・マップやSWOT分析などを用いて、 ものごとを論理的にとらえたり、分析したりするなどの思考方法を学ばせ、ビジネスの場面を想定した討論などの実習なども行う。 更に、会議や交渉、情報発信などのそれぞれの特徴や状況での対応の仕方などを学ばせ、実習などを体験することで、相手に伝わる話し方などについて実感をもって理解させるようとする。																				
(2) 10点																					